

【岡垣町】
校務D X計画

1. 校務D Xの現状と課題

「G I G Aスクール構想の下での校務D Xチェックリスト」に基づく自己点検結果（文部科学省令和6年11月実施）の自治体別達成状況において、学校設置者の点数は75点であり、福岡県全域の平均254.6点を大きく下回っている。また、学校の点数は388.9点であり、福岡県全域の平均391.0点を下回っている。

学校設置者と学校ともに更なる校務D Xの推進が大きな課題となっている。

2. 今後の方針

校務D Xの推進に向け、ふくおか電子自治体共同運営協議会の共同調達に参加しており、令和7年4月に統合型校務支援システムの運用開始を予定しています。

統合型校務支援システムを導入することにより、「教務系（成績処理、出欠管理、時数管理等）・保健系（健康診断票、保健室来室管理等）、学籍系（指導要録等）、学校事務系など一元化することが可能となります。業務の効率化・負担軽減を図ることができ、教職員の働き方改革へとつなげていきます。業務の効率化・負担軽減により、教職員が児童生徒と向き合う時間を確保することができ、更なる「教育の質的向上」につながります。

また、教職員の働き方改革を実現するために、書類への押印の見直し、各種書類のペーパーレス化等に取り組めます。